



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

## ROTARIANS

UNITED IN SERVICE—DEDICATED TO PEACE  
CHARLES C.KELLER

ロータリアン——

奉仕に結束  
平和に献身

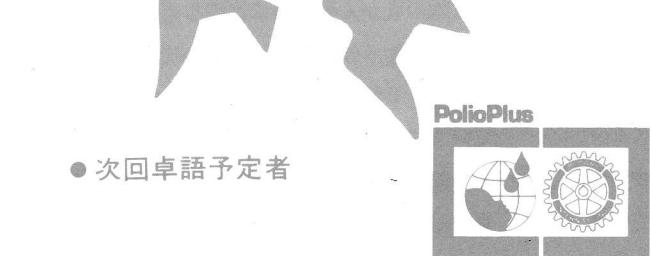


ガバナー公式訪問日

1988. 3. 4. (金) 第19回例会

### 本日のプログラム

1. 点鐘
2. 国歌齊唱
3. ロータリーソング(奉仕の理想)
4. 食事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員長報告
8. セレモニー(3月誕生・結婚記念日祝)
9. ガバナーの時間
10. 点鐘



●次回卓語予定者

## 佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒880-03 佐土原町大字下田島9883番地1

会長 山脇 忍  
副会長 江藤 康雄  
幹事 岩切 正司  
会計 佐野 保  
会報委員長 垂水 敏雄

## 第18回例会記録（昭63・2・26）

会長

山脇 忍

皆さん、こんにちは、本日は第18回例会であります。

本日は皆さんに悲しいお知らせをしなければなりません。

当クラブの岩切幹事の兄さんが急性心不全のため、一昨日亡くなられたそうでございます。

弱冠37才で、これからご活躍されるお年であり、ご家族の悲しみはいかばかりかと深く拝察いたします。

皆さんとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。

ロータリーの活動を強化するに当って、ご婦人の「内助の功」も、見のがすことのできない重要なものです。

従って、ロータリーを活性化する為には、皆さんの奥さん方が健康で長生きして貰わねばなりません。

そこで本日は、最近重視されています乳がんに焦点を当てて話を進めたいと思います。

どのようながんでも、現状では、早期発見・早期治療が最良の方法であり、これによって完治する割合も高くなっています。

多くの病気において、人によってその病気に罹患する可能性が高い、いわゆるハイリスク・グループ（高危険群）というものがありますが、乳がんでもそれらの因子が明らかにされているので、それを知ることが先ず大事なこと思います。

乳がんの発生には、第一に性ホルモンとの関係が重視されています。

性ホルモンにより乳管上皮の周期的变化によ

って不均衡が生ずると、組織学的に前がん状態になります。

乳がんが、周期的变化の不均衡の最も生じ易い閉経開始前後から極めて多くなっているが、これは乳がんの発生にエストロゲンを中心とした性ホルモンの影響を重視しています。

中年以上の婦人でも独身の場合、既婚でも出産経験のない場合、晩婚の場合に、有意差をもって乳がん発生が多くなっています。

第二に、乳腺機能との関連があげられます。

授乳の経験がない、あっても少なかったり、授乳期間の短い婦人には、乳がんがより多く発生します。

ノルウェーにおける統計によると、3人以下の子どもを有する婦人には、4~6人の子どもを有する人の3倍、7人以上の子どもを有する人の7倍も乳がんになる率が高くなっています。

第三に、素因の関連ですが、同一家系に乳がんがより多く発生する傾向があります。

また、人種的に乳がん死亡率に有意差が認められています。

日本の乳がん死亡率に比較して、デンマーク婦人では約6倍、アメリカ白人婦人では約5倍、これを50歳以上に限度すると8倍も多くなっています。

一般に、東洋人よりも白人に発生頻度が高い傾向が認められています。

以上は、ハイリスクグループに関係した問題であるが、次に、乳がんの早期診断法として、乳房の自己診察について申し上げます。

乳がんの自己診察は、30歳以上の女性には毎月1回、月経終了後1週間以内に実行するの

が望ましいとされています。

鏡の前での視診と、背臥位での触診の二つがあります。

順序よく行うことが必要であり、この自己診察に要する時間は僅か5分ほどで、これにより発見し得る腫瘍は最小1cm程度の大きさとされています。

視診では、座位で、はじめ両腕をさげたまま、次いで両腕を挙上して、両側の乳房及び乳頭の対称性、皮膚の状態、即ち陥凹・えくぼ所見・平坦化・発赤腫脹、乳頭の陥没・びらん・異常分泌等を観察します。

局所所見として、腫瘍の触知は最も頻度が高く、乳房に腫瘍を主訴として来院するものが8.5%～9.5%、次いで、乳頭異常分泌と疼痛を訴えるものがそれぞれ5%とされています。

先ず腫瘍ですが、大部分は無痛性であるが、のちに疼痛を伴うこともあります。

入浴や着替えなどの際に偶然に発見されることが多く、ことに日本人は欧米人に比べ乳房脂肪組織が少ないので一層ふれ易いとされています。

乳がんの腫瘍は概して硬く、境界も凹凸不平、初期には新較的明瞭で可動性もあるが、浸潤が強くなると、境界不明瞭、非可動性となります。

最も重要なことは乳腺内における腫瘍の移動性で、がん腫は浸潤性が強いので、移動性が乏しいのが特徴です。

疼痛ですが、初発症状としては10%以下であり、刺すような痛み、灼熱感、つっぱる感じなどがあります。

陥凹所見及びえくぼ所見ですが、がん組織が皮下組織や皮膚などに波及した場合は、その部分に萎縮を伴った陥凹がおこります。

がんの原発部が皮膚に近い場合は、初期においてもおこり易くなります。

乳房の浮腫と発赤は、がん細胞の浸潤が皮下リンパ管を栓塞したり、外部より圧迫してリンパ流を妨害した場合、その程度により、被覆した皮膚に浮腫性の腫脹ができます。その外見は豚皮様皮膚（pig skin）です。

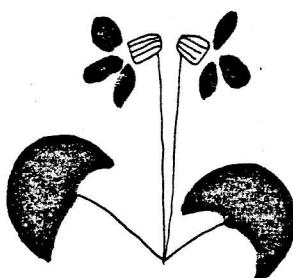
がん細胞の浸潤が小血管の栓塞や外部よりの圧迫により小血流を妨害し充血をきたした場合には、発赤性腫脹を生じます。また、拡張した毛細血管を認めることもあります。

乳がんにかかり易い人を平均的な婦人に比較した倍率で申しますと、独身婦人が4.6倍、専門職業婦人・聖職者2.6倍、子どもを一人しか育てなかつた人は1.7倍、25歳以後に結婚した人が1.8倍、毎日間食する人は1.9倍となっています。

最後に、乳がんのできる割合を部位別にみると、乳頭を中心にしてその上外側が5.0%、上内側が2.0%、乳頭附近が1.5%、下外側が1.0%、下内側が5%の順になっています。

乳がんの罹患は増加の傾向にあり、その早期発見の為、わが国でも乳がんの定期検診を実施している地域が多くなっています。

皆さんに関係のあるご婦人に、この話を伝えいただかずか、奥様方にこの記事を読んでいただきますならば、少なからず役立つものと信じます。



## 監事報告 代理 江藤副会長

前回の例会終了後、園山特別代表及び斎藤特別代表補佐と当クラブの会長・副会長・幹事との話し合いがありました。その席上で次のことをについて、特に厳しいご指導がありましたので皆さんにお伝えし、十分反省したいと考えます。

それは、2月14日、都城市で開催されました、「宮崎県IGF」への佐土原RCの出席者が僅か2名で、出席率が極めて悪かったという点です。新会員期間中は、全員が出席することが期待されているからです。

外山パストガバナーもこのことから佐土原RCの今後について大変危惧の念を抱かれて、園山特別代表に、十分指導をしていただくよう申し入れがあったということです。

当クラブとしましては、真剣に反省をし、このようなことが再び生じないよう万全の検討を進めいかなければならぬと考えます。

## 社会奉仕委員会より 委員長 金丸三男

佐土原RCの行事予定表で、社会奉仕委員会は、3月に環境美化運動をすることにしています。今のところ、佐土原RC創立記念植樹を計画しております。

佐土原町の緑化推進運動にも寄与したいため、町役場の担当課と協議しましたところ、植樹の場所は、町中央公民館前あたりがよいのではないか、また、樹種は桜が適当ではないかとのことでした。

3月中には実施したいと考えていますが、植樹は会員の皆さんに奉仕作業をお願いすることになると思いますので、日時や希望樹種について検討しておいてください。

具体的な実施計画は、それを参考にして、次回の理事会で決定したいと思います。

## 会計より 佐野 保

会長の指示によりまして、岩切幹事のご実兄のご逝去に対して、当クラブから花輪と弔電を差しあげておきました。

## C. N, 実行委員長より 江藤康雄

チャーターナイトの諸準備について、宮崎北RCの積極的なご支援をいただき深謝申し上げているところでございますが、このたび5名の専門チーム（チーフ・総務・企画・式典記念事業・涉外）を編成してご指導を賜わることになりました。従って、前回お話ししました各室長会は、ガバナー公式訪問後にご連絡したいと思います。（宮崎北RCの5名の指導委員の方との第1回合同会議についても、決定次第お知らせいたします。）



## 山脇会長より

佐土原ロータリークラブ定款及び細則の不備箇所がありましたので、本来なら理事会に諮って決定すべきですが、公式訪問もさし迫っておりますので、本日の例会でお諮りして決定したいと思います。

（会長から下記のとおり提案があり、全員賛成しました。）

### 定款 第2条 第1節 3行目

「佐土原町行政区を区域限界とする。」を、

「佐土原町行政区及び新富町行政区を区域限界とする。」に訂正する。

細則 第11条第1節(5)12行目

「…の反対投票が 票を超えた場合」  
を、  
「…の反対投票が1票を超えた場合」  
と1を記入する。

細則 第11条 第2節 14行目

「…の反対投票が 票を超えない場合は…」  
を  
「…反対投票が1票を超えない場合は…」  
と1を記入する。



会員スピーチ 鈴木正敏

「私の職業」というテーマでお話をさせていただきます。

私の職業分類は、「食品販売」です。

内容は、山惣株式会社として、乾物・缶詰・調味料等の卸販売をしています。

卸販売には、全国規模から南九州規模、あるいは県内規模（地域卸）までありますが、本県の食品卸業者は殆ど地域卸のようです。

また、全国卸の上部に商社が存在する場合やメーカーと商社が結び付いて、商社が発売元となっている場合もあります。

昭和54年に、宮崎食品サービス（株）を設立しました。カゴメの飲料自動販売機を各職場に設置し、好きな時に自由に飲めるというサービス付加価値をねらって、職域市場への進出を

計ったものです。

実際にみて、ネックは空かんの回収にあることがわかりました。

営業上の多量の空かんは、町のごみ捨場に捨ててはいけないということで、廃品回収業者に当りましたが引受ける人がなく、やっと回収してくれる業者を見つけて、現在年間50万円程度で委託しております。

食料品は、同一メーカーの同一食品を複数の業者に販売させています。そのため競争が烈しく、利潤は少い業種です。

社員の待遇も低くならざるを得ません。

このような事情から、最近は食料品企業の内容の大転換、多角化、副業化が重視されてきました。

私の会社でも、時流に遅れじと、昨年12月に学習塾コンサルタントを開設し、ぽつぽつやってみているところです。

特別寄稿

「ロータリーの綱領」手ほどき

宮崎北RC会長 岡本英敬

〔ロータリーの綱領〕

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 実業および専門職業の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するために、その職業を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活および社会生活に、常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

世の中で一番大切なことは、他人の立場で物事を考えて、他人のために役立とうとする思いやりの心である。これを奉仕の理想といい、大変有益な事業である。この事業を拡大発展させるために次のことをよく説明広報し、これを育てることである。

第1 この有益な事業を拡大発展させるためには、1業種1名で、善意の奉仕の心を持った人々を多く集めて、例会、各種会合各行事等に出席参加し、親睦と友情を深め、更により深く他人の立場で物事を考え、他人のために役立とうとする思いやりの心を各ロータリーの広場を通じて学びその輪を広げなければならない。  
そのためには、各研修等を得て知識の修得に精進しなければならない。  
(クラブ奉仕部門・12委員会・親睦・出席・知識の修得推進)

第2 他人のために役立つためには、自分の職業を発展させ、育成し、自分の職業をレベルアップしなければならない。そのためには、ロータリアン自身が人徳を積むことで、それが職業のレベルアップに通ずる基本になる。また、他人の職業も理解し尊重しなければならない。ロータリ

## 出席報告

第18回例会 2月26日(金)

|          |        |
|----------|--------|
| 会 員 数    | 21名    |
| ホーム欠席者数  | 5名     |
| ホーム出席者数  | 18名    |
| ホーム出席率   | 76.19% |
| メークアップ者数 | 0名     |

欠席者名 立山・池田・武田

吉田・岩切(忌引)

アンは職業を通じて社会のために役立つことであるから、常々自己研鑽と職業研鑽に努め、職業の品位向上に精進しなければならない。(職業奉仕部門・1委員会・職業の品位向上推進)

第3 私達は、第1項、第2項で学んだ他人の立場で物事を考え、他人のために役立とうとする思いやりの心を、ただ理論または考えているだけではいけない。私達の生活の中とか、職場とか、地域社会の場で公私共々実践することである。

(社会奉仕部門・3委員会・公私共々思いやりの心を実践推進)

第4 人種、宗教、思想、国情を超えて、世界の人々のために役立とうとする思いやりの心で結ばれた世界のロータリアンは、互いに親善交流し、国境を超えて往来することである。そうした国情の違いはあるにしても、お互いに心を開いて相互理解を図り、更に親善交流を深めなければならぬ。ロータリーの究極の目標は、世界の国々の人々が、健康で、物心両面豊かで住み安い世界社会を目指すと共に、世界平和への推進に努めることである。

(国際奉仕部門・3委員会・国際理解と平和推進)

ビジター(敬称略)

宮崎北 園山謙二 特別代表